

本稿の執筆を依頼されたのは、私の勤務先の大学の入学試験の面接日でした。事前に準備しているとはいえ、受験生の皆さんは立派なもので、いつものことですが、評価をつけるのに苦吟しました。残念だった諸君には、今頃、どこか別のところで学生生活をスタートしていることを願います。本学に入学した諸君には、面接で述べた初志を貫いていただきたいものです。

ところで、私などは若いころは、(今でもそうですが)人前でうまく話せず、そういう世代でもあったと思うのですが、今の若者の多くは受け答えがなめらかな印象を受けます。スポーツ選手のインタビューなどでもそうお感じの方は多いのではないのでしょうか。E-mail や SNS などの顔の見えないコミュニケーションツールが普及するなかで、不思議ですが、褒めるべきことです。一方、医療系の大学に入ってくる新人の学力(おそらく基礎科学の理解力のことでしょう)の低下を懸念する声を聞きますし、現場でも実感することがあります。私は教育の専門家ではないので、その実態や理由についてはわかりませんが、学校での成績や就職直後の印象よりは、社会に出ての5~10年が、その人にとって大きな評価の時期であると考えています。若い方々は目の前の仕事で精いっぱい、本誌をじっくりと読む余裕はないかもしれませんが、先輩の方々は、彼らの“のびしろ”の時期を大切に過ごさせてあげ

てください。

さて、今月号の第1特集は「体腔液の臨床検査」、第2特集は「感度を磨く—検査性能の追及」です。体腔液は、少なからず患者さんに苦痛を与えて採取されるので、可能な限りの情報を得るべきですし、慎重な取り扱いが望まれます。第2特集では定量的な感度が取り上げられていますが、体腔液検査の目的は、異常細胞の検出や定性的な評価が主となりますので、採取や検体の取り扱いは、その目的に沿ったものになるようです。

体腔内物質の定量評価は元来難しいものです。血液内物質は恒常性を保とうとする調節の結果ですので、理屈が通じますが、体腔液はそうはいきません。例えば、塩分をたくさん摂取しても、血漿Naはあまり変化しませんが、そのかわりに、体液のNaは増加します。また、採取の仕方にも大きく影響されます。脳脊髄液内の蛋白を例にとると、血漿濃度が数百倍高いものは、採取時の末梢血混入の影響を受け、正確な評価は困難になります。そうはいっても、限られた環境の変化を評価するため、可能な限り末梢血の影響を排除する工夫があればと思います。そのような工夫も検査医学の研究ターゲットかもしれません。

2つの特集は一見、教科書的ですが、教科書では得られない内容です。十分に堪能をいただければ幸いです。

(山田俊幸)

編集顧問	河合 忠	濱崎 直孝	山中 學	(五十音順)			
編集同人	猪狩 淳	池田 康夫	伊藤 喜久	大久保昭行	小沢友紀雄		
	片山 善章	軽部 征夫	坂本 穆彦	高橋 正宜	中 恵一		
	三浦 純子	本田 武司					
編集委員	山田 俊幸(主幹)	岩田 敏	河合 昭人	佐藤 尚武	山内 一由		

臨床検査 (第60巻第5号) 2016年5月15日発行(毎月15日発行)

発 行 株式会社 医学書院
代 表 者 金原 優
〒113-8719 東京都文京区本郷 1-28-23
☎ 販売部直通 (03) 3817-5659
振替口座 00170-9-96693
☎ 本誌編集室直通 (03) 3817-5712
FAX (03) 3815-7802
E-mail : rin-ken@igaku-shoin.co.jp

定価：本体 2,200 円＋税
2016 年年間購読料(送料弊社負担、増刊号を含む 13 冊)
冊子版 本体 30,000 円＋税
冊子＋電子版/個人 本体 35,000 円＋税 冊子＋電子版/共有 本体 39,500 円＋税
電子版/個人 本体 30,000 円＋税 電子版/共有 本体 34,500 円＋税
担当 田村・濱中・境田・三由・能藤
印 刷 所 (株)アイワード ☎ (011) 241-9341
広告取扱 日本医学広告社 ☎ (03) 5226-2791

・ Published by IGAKU-SHOIN Ltd., 1-28-23 Hongo, Bunkyo-ku, Tokyo © 2016, Printed in Japan.

- ・ 本誌に掲載する著作物の複製権・翻訳権・上映権・譲渡権・公衆送信権(送信可能化権を含む)は(株)医学書院が保有します。
- ・ 本誌を無断で複製する行為(複写、スキャン、デジタルデータ化など)は、「私的使用のための複製」など著作権法上の限られた例外を除き禁じられています。大学、病院、診療所、企業などにおいて、業務上使用する目的(診療、研究活動を含む)で上記の行為を行うことは、その使用範囲が内部的であっても、私的使用には該当せず、違法です。また私的使用に該当する場合であっても、代行業者等の第三者に依頼して上記の行為を行うことは違法となります。
- ・ **JCOPY** (出版者著作権管理機構委託出版物)
本誌の無断複製は著作権法上の例外を除き禁じられています。複製される場合は、そのつど事前に出版者著作権管理機構(電話 03-3513-6969, FAX 03-3513-6979, info@jcopy.or.jp)の許諾を得てください。
- ・ 医学書院ホームページ(インターネット)は <http://www.igaku-shoin.co.jp> です。
「臨床検査」URL <http://www.igaku-shoin.co.jp/mag/rinshokensa/>
- ・ 「臨床検査」は、株式会社医学書院の登録商標です。